

平成30年度事業報告書
(平成30年4月～平成31年3月)

I 研究事業

A. 研究事業

a-1. 企画研究

以下2件の企画研究の実施を決定し、研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
少数民族における医療に関する現地調査	欠端 實 冬月 律 李 静	500,000 円
菊地三郎翁研究	堀中 浩 木村実季	95,523 円

a-2. 個別研究

以下1件の個別研究に対して研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
知られざる郭沫若の諸事について	齊藤孝治	300,000 円

B. 研究会、講演会等の開催

該当なし

C. 所報、その他出版物の刊行

c-1. 紀要『中日文化研究所論文集第6号』を刊行した。

掲載原稿のタイトルは以下の通り。

(論文)

知られざる郭沫若の諸事について (5) —名家の姉妹たち— 齊藤孝治

(研究ノート)

『高皇歌』から見るシエ族の起源と文化 李 静

『上海日日新聞』に見る満洲事変前夜

—宮地貫道の予見を中心に— 木村実季

(資料・論考)

社団法人中日文化研究所 創立60周年記念事業

〔映像完成台本〕北京の食文化 重森貝崙

編集後記

- c-2. 所報『中日文化研究第6号』を刊行した。
掲載原稿のタイトルは以下の通り。
- | | |
|---------------------------|------|
| 菊地三郎先生にとっての日中友好 (1) | 堀中 浩 |
| —木刻運動をめぐって— | 齊藤孝治 |
| 聶耳、最後の手紙 —全てがうまくいきますように— | |
| 〔同和居〕と〔砂鍋居〕、そして小吃など | |
| —奥野信太郎先生と北京食単— | 重森貝崙 |
| 地域の自然と文化を活かす茶の葉 | |
| —茶都杭州とお茶の世界博覧会 | 李 静 |
| 菊地三郎先生のこと | 小林一雄 |
| 勿頸の友、郭沫若と成仿吾のふれ合いについて (中) | 齊藤孝治 |
| 編集後記 | |
- c-3. 『中国文化叢書』として、重森貝崙会員が
『永遠のモダンを求めて —作庭家・重森三玲の生涯—』
の制作を開始した。完成予定は令和元年度。
- c-4. DVD映像資料を図書館など教育機関等に販売した。
制作作品：中国絵巻物シリーズ 『姑蘇繁華圖』、『清明上河圖』
中国の食文化シリーズ『乾貨の食文化』、『桑基魚塘』
『北京の食文化 PART II』
湯島聖堂・原三七と冊子『中国菜』
『康熙帝還暦を寿ぐ北京の佳き日』
販売委託先：岩波映像株式会社

D. その他
特になし。

II その他の事業

- ① 茨城県美浦村に所有する不動産の賃貸
公益財団法人アジア・アフリカ文化財団に対して賃貸した。

以上

平成30年度 事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」の該当なし。